

報道関係者各位
2018年10月19日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK: 945

療養中の子どものためのプレイルーム『マニユライフわくわくる一む』 大阪急性期・総合医療センターに開設

全国で15ヵ所目、「癒しの森」をテーマに、幅広い年齢の子どもたちが楽しむことができるプレイルーム

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼CEO:吉住公一郎、本社:東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)が社会貢献活動の一環として取り組んでいる、療養中の子どものためのプレイルーム「マニユライフわくわくる一む」が、寄贈先である地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター(大阪市住吉区)にて完成し、10月17日に贈呈式と内覧会が行われました。

「マニユライフわくわくる一む」プロジェクトは、子どもの療養環境改善活動の一環として、特定非営利活動法人 子ども健康フォーラムとともに、マニユライフ生命が2007年より継続して行なっている活動です。療養中の子どもたちの心のケアを行う中核施設として、プレイルームの意義を啓発し、全国の小児医療関連施設にプレイルームを設置する支援をしています。

10月17日の贈呈式には大阪急性期・総合医療センターより後藤満一総長および福並正剛病院長、子ども健康フォーラムより前田正信理事長、篠原佳則理事・運営委員長、マニユライフ生命より取締役代表執行役社長兼CEOの吉住公一郎および関西リージョナルオフィス 地区本部長 蟻川崇浩が参加しました。また、新たな療養施設の開設を祝して、大阪府の広報担当副知事「もずやん」も出席し、子どもたちと「もずやん」によるくす玉割りりと記念撮影および内覧会が行われました。

大阪急性期・総合医療センターに設置されたマニユライフわくわくる一むは、専門家のアドバイスで内装の床材や壁材が選定され、「癒しの森」というテーマのもと、屋内でも自然を感じられる工夫をこらし、まるで子どもたちが森の中にいるかのようなデザインとなっています。また、異なる年齢の子どもたちが同じ空間で共に過ごせるよう、家具で仕切られた多機能空間になっています。

マニユライフ生命は、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



入院中の子どもたちと一緒にくす玉を割る、マニユライフ生命社長兼CEOの吉住公一郎(右から3人目)



マニユライフわくわくる一むで遊ぶ子どもたち

<参考>

■大阪急性期・総合医療センター『マニュアルわくわくる一む』概要

大阪急性期・総合医療センター 南館(大阪府市共同 住吉母子医療センター) 5階 小児科病棟
住所: 〒558-8558 大阪市住吉区万代東 3 丁目 1 番 56 号



完成したマニュアルわくわくる一む

大阪急性期・総合医療センターの「わくわくる一む」は、ガラス張りとなっており、室内の楽しい様子が廊下から見えるように設計されています。入口の床とドアの上部には癒しの森を象徴する緑色を用いることで、緊張しがちな病院の中でほっと安心できる空間を演出しています。

家具で仕切られた多機能空間は、奥から、赤ちゃんコーナー、幼児コーナーとなっており、小さな子どもがより安全なエリアで遊べるよう配慮されています。赤ちゃんコーナーは柔らかなクッション床と安全柵があり、安心して遊ばせることができます。幼児コーナーは、森の中の家をイメージしたシンボル家具で区切られ、ままごとなどの遊びができる空間です。また、壁面アートに取り付けられた鐘のおもちゃを実際に鳴らして遊ぶこともできます。

入口付近は、絵本コーナーと小中学生向けの制作コーナーとしています。子どもたちが絵本を読んだり、カードゲームや工作・絵画などができる机を設置しています。入院している子どもたちが、夜間に勉強することも想定し、スタッフステーションからも看護師の目が届くよう設計しています。

部屋の中央にはテレビコーナーを設けています。家具等を移動すれば、大勢の子どもたちが映画鑑賞を楽しめるように設計しています。

壁面には、ガーベラ、ヒマワリ、スズラン、チューリップ、キキョウ、コスモス、クローバーなどの花の妖精が描かれています。入院している子どもたちを勇気づけるだけでなく、家族の方を癒して励ますことのできる空間を目指しました。

「マニユライフわくわくる一む」一覧(2018年10月現在)

	施設名(所在地)	概要(完成年)
1	近畿大学医学部附属病院(大阪府)	病室を改修した病棟プレイルーム(2008年)
2	豊田厚生病院(愛知県)	短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム(2008年)
3	大阪市立総合医療センター(大阪府)	思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009年)
4	中部ろうさい病院(愛知県)	病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009年)
5	旭川厚生病院(北海道)	乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010年)
6	大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府)	国内初の青少年向けプレイルーム(2010年)
7	滋賀県立小児保健医療センター(滋賀県)	重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011年)
8	星総合病院(福島県)	東北地方初 本格的プレイルーム(2013年)
9	心身障害児医療療育センター(東京都)	心身障害児向けプレイルーム(2013年)
10	茨城県立こども病院(茨城県)	子ども専門病院における青少年向けプレイルーム(2014年)
11	北里大学病院(神奈川県)	小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
12	堺市立総合医療センター(大阪府)	幅広い年齢の子どもたちに対応する小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
13	済生会横浜市東部病院(神奈川県)	わくわくる一む初となる屋外スペースを含むプレイルーム(2017年)
14	国立国際医療研究センター病院(東京都)	既存の空間やテーマを生かした開放的でユニークなプレイルーム・プレイエリア(2017年)
15	大阪急性期・総合医療センター(大阪府)	「癒しの森」をテーマに、幅広い年齢の子どもたちがさまざまな遊びを楽しむことができるプレイルーム(2018年)

大阪急性期・総合医療センター南館(大阪府市共同 住吉母子医療センター)について

大阪急性期・総合医療センターでは、小児・周産期医療部門を強化するため、敷地南側において「大阪府市共同 住吉母子医療センター(住吉母子医療C)」を2018年4月にオープンしました。住吉母子医療Cは、ハイリスク妊産婦や重症小児患者への対応を強化するとともに、高度救命救急センターと連携することで、24時間365日対応できる小児・周産期医療の提供を行っています(ホームページ <http://www.gh.opho.jp/hospital/20.html>)。

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けています(ホームページ <http://www.npo-cln.com/>)。

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、130年以上の歴史を持ち、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の3つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」のもと、お客さまが自ら健康で豊かな未来を切りひらいていくためのサポートをしています(ホームページ www.manulife.co.jp)。